

2015年12月28日

2015年12月 納会挨拶（広報版）

代表取締役社長 石和田 雄二

☆ 一年間、お疲れ様でした。

本日で2015年の業務は終りになります。

一年間、お疲れ様でした。

こんな穏やかな気持ちで仕事納めを迎えたのは、何年振りでしょうか？

社員の皆さんの日頃の努力のお陰であり、感謝している。

有難うございます。

☆ ICTサービスは新しい時代に入った。

この数年間、ICTサービスは大きな変革の渦中にありましたが、

この1年間で、愈々新たな時代が始まったと感じている。

ITサービスの成長の流れと分野が見えてきました。

- ① モバイル端末とコネクテッドカー  
スマホ、ガラホから車までのモバイル情報端末の時代。
- ② ネットワークインフラ上のクラウド  
企業の基幹サーバーも外部運用、所有から活用の時代。
- ③ パッケージベースの業種別S Iサービス  
自前開発は終り、早く安く品質の標準品ベースの時代。
- ④ 先端技術を活用したデータに学ぶ情報処理  
IOTでビックデータ収集、AIで分析知見を得る時代。
- ⑤ リアルビジネスとネットビジネスの相互交流  
オムニチャネルと共に各分野のシミュレーション時代。

ICTのサービスインフラと個人端末の普及が背景にあるが、  
グローバルな環境問題とローカルな少子高齢化が進む世界と日本、  
ICTサービスが時代を拓く最重要の社会インフラになって来ています。

☆ 当社は時代の流れに乗っており、成長段階に向かう。

3 ビジネスユニット部門、10 ソリューションサービス部、今年も、それぞれの分野で、新しい取り組みや従来分野の高度化に挑戦、努力してきた。それは同時に、当社が IT サービスの時代の流れに乗る為の努力でもあったのです。結果として、3 月末の売上超 32 億に繋がり、今期末の超 36 億に繋がります。

この一年間、応用技術開発部の先端技術分野の仕事が人材と信用を創り、ESS は、伝統の製造分野で新たな応用分野でのサービス実績を残し、BSS/MSS では次代に繋がる重要プロジェクトを立ち上げた。その過程で、人が育ち、来年に繋がる経験を蓄積した。平均年齢 33 歳、マジョリティは 20 代 SE、当社の成長発展はこれからです。

☆ 2015 年、来年に繋がる IVIS 会社経営ベスト 5

年末懇親会と重なるが、経営的に見て来年に繋がる出来事を選びます。

- 15 年 3 月期決算、二期連続の 2 桁成長。
- 将来の R&D 棟、自社ビルの購入と開設。
- 古性チーム、BSS メンバーの各種活躍。
- 谷口チーム、応技メンバーの技術挑戦。
- 素材 46 名確保、森、赤石主導新卒採用。

目立った人も、目立たない人も、皆さんの努力が会社を創っています。一年間のチームワークと地道な努力、ご苦労様です。

☆ おわりに

IT サービスの時代の流れは、来年は一段と加速することになるでしょう。IT サービスは社会の知であり知恵、人の知への関心と知恵への欲求に限りがない様に、IT サービスの技術開発と応用分野への適応は永遠に続きます。先があるので、焦らず、休まず、着実に足元を固めましょう。来年度から基盤整備三年計画をスタートさせます。

一年間、お疲れ様でした。

今年は短い正月休み、ゆっくりと寛いで英気を養って下さい。(了)